

## 道内所管事務調査

総務産業常任委員会

10月24日～26日



(動画時間) 126分  
1:43:27  
委員長報告

10月24日から26日までの3日間の日程で道内所管事務調査を行いました。

所管事務調査は、町から提案された予算案や条例案などの議案審査をするのとは違い、常任委員会です管している事項について、自主的にテーマを設定し、審議に必要な調査を議会の休会中に行うものになります。

釧路市、小清水町、北見市へ6名の委員（議長同行）を派遣し、現地調査を行いました。この議会日よりでは、12月定例会議で結果報告した内容を一部抜粋してお知らせします。

### ◆釧路市…ビジネスサポートセンターkibizの取り組みについて

釧路市では、地域経済のプラス成長と雇用の創出を図るため釧路市、商工・経済団体などの10団体からなる協議会の後ろ盾の下、平成30年8月に北海道・東北エリアで初となる釧路市ビジネスサポートセンターkibizをオープンさせた。

事前予約の無料相談に開設当初から計画を上回る件数の相談が寄せられている。

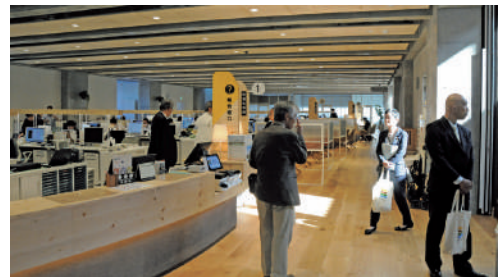
釧路のあらゆる業種の中小企業などから寄せられた経営改善や販路開拓、新商品開発等の相談に応じ、相談者のアンケートでは、「良い変化があった」が80%を超えるなど、大きな成果を出している。

【所見】kibizの取り組みは、地域活性化にも繋がる中小企業支援として大きな成果が見られた。

設立に向けて作業が進められている中間支援組織や今後、制度が予定されている産業振興条例など、持続性と相談体制が明確でより実効性の高いものとなるよう努めていただきたい。

### ◆小清水町…防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」について

小清水



小清水町「ワタシノ」

町防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」は、行政業務を担う庁舎ゾーンや市民が集うコミュニケーションティーンなどが併設されており、災害などの非常時でも施設がそのまま機能するフェーズフリーの考え方を導入した防災拠点を併せ持った施設である。

【所見】本町の役場庁舎は、建設から50年が経過しており、更新時期に来ている。

小清水町の「ワタシノ」のように行政や議会事務処理機能にとどまらず、防災機能や地域住民のコミュニケーションスペースなどを確保し、満足度の高い機能の充実や財源の確保など十分考慮し、住民との合意形成を図りながら慎重に庁舎の更新を進めていただきたい。

### ◆北見市…書かないワンストップ窓口について

北見市



北見市「書かないワンストップ窓口」

は、平成24年から若手職員の発案による窓口業務改善事業を市長に提案し、手続きの簡素化や窓口支援システムを導入するなどの改善を図りながら一つの窓口で一人の職員が対応し、来訪者からの聞き取りなどで手続きができる、書かないワンストップ窓口が本格稼働し、業務の効率化と来訪者の利便性向上に繋がっている。

【所見】北見市の窓口サービスの取り組みは、若手職員からの提案を発端に始まったものである。

本町においても窓口担当者や中堅職員を中心に、住民サービス向上のための先進地視察などを進めることが重要と考える。